

Stylish Furniture

MiSEL

スタイルリッシュファニチャー ミセル

このたびは、「DAIKEN製品」をご採用いただき
ありがとうございます。

- この説明書は、本製品の取扱い方法について説明します。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ず
お読みください。
- この取扱説明書に記載されている「△警告」と
「△注意」事項は、使用上重要な内容です。
本製品の性能と安全性を確保するために、よくお読み
いただき、正しくお使いください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に
基いて適切に処理してください。
- お読みになった後は、いつでも利用できるように、
この取扱説明書を大切に保管してください。

もくじ

取扱説明書

1. お使いになる前に	1
2. 基本ユニットの使いかた	4
3. TVボードの使いかた	7
4. オプションの使いかた	8
5. 扉の調整のしかた	13
6. 耐震ロックの解除のしかた	17
7. お手入れのしかた	19

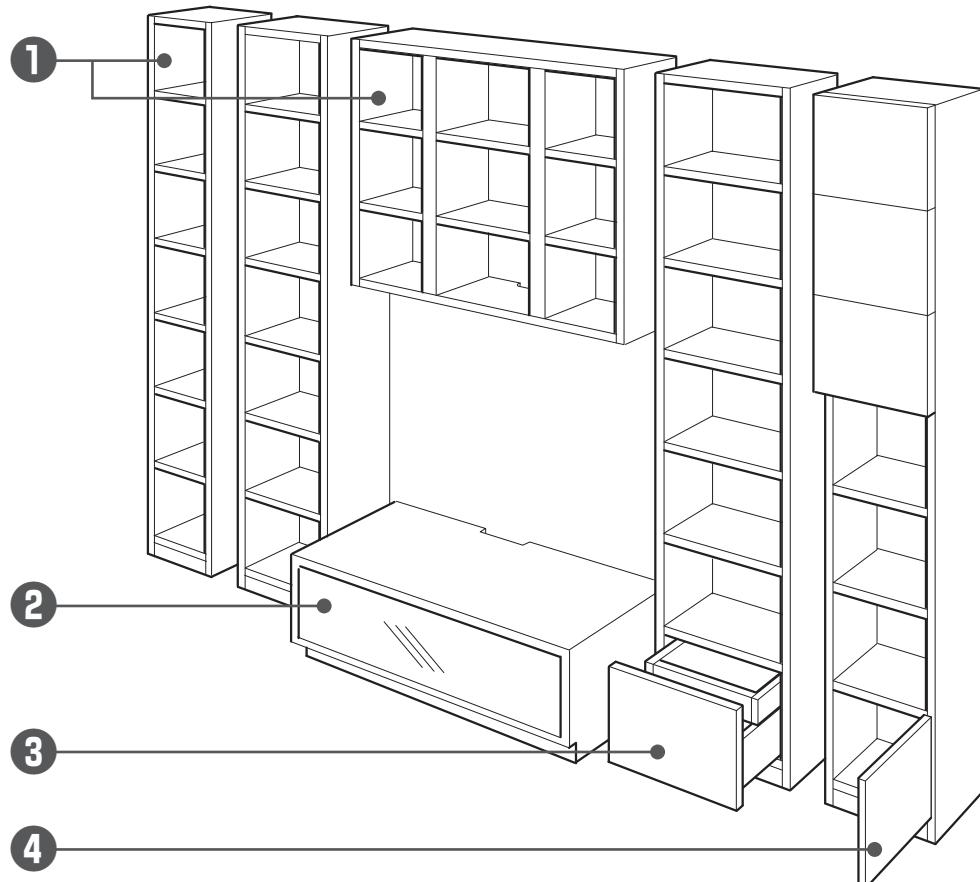


1. お使いになる前に

本書は、スタイリッシュ ファニチャーミセルシリーズの共通説明書です。

お客様が購入された製品やオプション品などの記載ページをご確認のうえ、本書を活用してください。

■ 各部のなまえ



① 基本ユニット (→ 4ページ)	「床置きユニット」、「吊ユニット」など
② TV ボード (→ 7ページ)	「システムタイプ」、「フロートTVボード」など
③ オプション (→ 8ページ)	「引出し」、「スライドカウンター」、「スラックスハンガー」、「格納デスクユニット」、「ワゴンユニット」、「コンセントユニット」など
④ 扉 (→ 13ページ)	「開き扉」、「フラップ扉」など

各製品群についての詳細は、弊社ホームページでご紹介している
カタログ「スタイリッシュ ファニチャーミセル」で確認できます。
DAIKEN HP (<https://www.daiken.jp/>)

■ 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です
	必ず実行していただく内容です
	注意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など

⚠ 警告

ⓧ お客様で、製品の解体や移設・レイアウト変更をしないでください。

組立・施工が不十分ですと、破損や落下によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店、工事店にご相談ください。

⚠ 注意

ⓧ 亂暴な取扱いや収納家具としての用途以外の使用はしないでください。

けがや故障・破損の原因になります。

ⓧ ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。やけどや火災の原因になります。

ⓧ 製品の上に立ち上がったり、足や腰を掛けたりしないでください。

また、もたれ掛けたり、ぶら下がったりしないでください。（特にお子様に注意してください。）転倒や転落により、けがをする原因になります。

ⓧ 製品に登らないでください。

棚が外れたり、本体が倒れて、けがをする原因になります。

ⓧ 耐荷重を超えて、ものをのせたり収納したり、引っ掛けたりしないでください。

破損や脱落、ものの落下により、けがをする原因になります。

※各製品の耐荷重は、それぞれの説明ページに記載しています。

ⓧ 引出しレールなど可動部に注油しないでください。油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

ⓧ 製品の分解や改造をしないでください。

けがや故障の原因になります。

ⓧ ボルトやネジがゆるんだまま使用しないでください。

本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。

ⓧ 製品に貼ってあるラベルを、はがさないでください。

誤った使いかたや事故を防止するためのものです。

❗ 引出しレールなどの可動部に、手や指、衣服などをはさまないように注意してください。

けがをするおそれがあります。

❗ キャスターはフローリングで使用してください。

カーペットや畳で使用されると、キャスターがスムーズに動かないことがあります。床面が傷つくおそれがあります。

❗ 扉や引出し、スライドカウンターなどを開閉するときはゆっくりおこない、手や指、衣服などをはさまないように注意してください。

勢いよくおこなうと、けがや破損するおそれがあります。

❗ 棚板などが確実に取り付いていることを確認してから、ものを収納してください。

外れかけていたり、ゆるんだ状態で収納すると、収納物が落下してけがをするおそれがあります。

❗ 固定されていないユニットを移動させる場合は、収納物を取り出してから移動させてください。製品本体および収納物、床などの破損のおそれがあります。

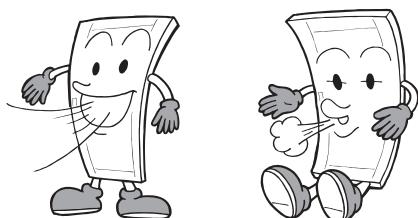
1. お使いになる前に

使用上のご注意

- 使用を開始してから、収納したものの重量や床の状態により、製品にゆがみが出て、垂直や水平でなくなったり、すき間が目立つたりすることがあります。各部の確認と調整をおこなってください。不具合が出たまま使用していると、故障の原因になります。
- この製品に以下のものを直接置かないでください。
なべ敷など敷物を敷いてください。
 - ・熱い湯のみや加熱したなべ・やかんなど、熱を発するもの
 - ・金属や陶器など、硬いもの変色や変形、軟化、ひび割れ、反り、サビ、色移りの原因になります。

木質収納扉の反りについて

木材を原料とする木質材料【合板、パーティクルボード、MDF（ミディアムデンシティファイバーボード）など】を加工して作られた製品は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、室内と収納内部の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。
- この製品に以下のものをこぼしたままにしたり、収納したり、放置したりしないでください。
水分は残らないように拭き取ってください。
 - ・飲み物などの水分、ぬれたもの
 - ・ビニールなどの樹脂製品やゴム製品
 - ・入浴剤や毛染液など染料の強い薬剤
 - ・酸・アルカリ性溶剤、有機溶剤変色や変形、軟化、ひび割れ、反り、サビ、色移りの原因になります。

「反り」の発生をできるだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

1. エアコン、暖房器具などを使いになる場合は、製品に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
 2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、室内と収納内部の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
 3. 製品に直射日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、スダレなどを設けて日光を遮ってください。
- 発生した「反り」は、室内と収納内部の環境条件を近づけることによって、小さくなることがあります。

2. 基本ユニットの使いかた

■ 基本ユニットについて

基本ユニットには、床置きユニットと吊ユニットがあります。
自在棚を付替えることで、さらにフレキシブルに使用することができます。
収納するものや用途に合わせて、自在棚を移動させてください。

床置きユニット

床に置いて、壁面にビスで固定して設置されているユニットです。

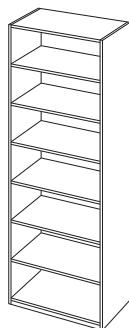
〈自在棚の数〉

床置ユニット

H1:なし、H2:1枚、H3・H4・H5:2枚、
H6:3枚、H7:4枚

床置オープンユニット

H4:なし、H5・H6:1枚、H7:2枚



吊ユニット

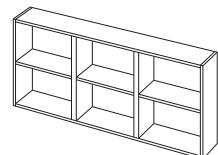
壁面にビスで固定されているユニットです。

〈自在棚の数〉

H1:なし

H2:1枚 (W1200以上は3枚)

H3・H4:2枚



△ 注意

○ 耐荷重（棚板に均等にものを置いた場合：右表）を超えて、棚板にものを収納しないでください。

破損や脱落、ものの落下により、けがをする原因になります。

● AV機器を設置する際は、壁面やユニットとの間にすき間を設けてください。

すき間の寸法は、AV機器に付属の説明書を参照してください。

十分なすき間がないと、ユニット内に熱がこもり、火災や変色、変形のおそれがあります。

耐荷重一覧表（棚板）

奥行き	幅	W400	W533	W800
D200・D300・D450	10 kg	10 kg	20 kg	
D600	20 kg	20 kg	40 kg	

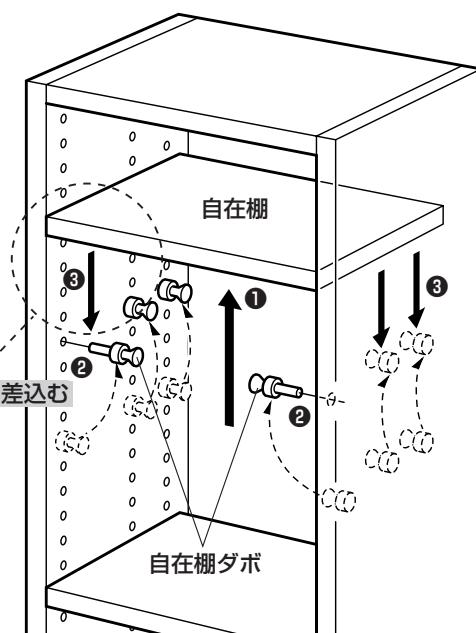
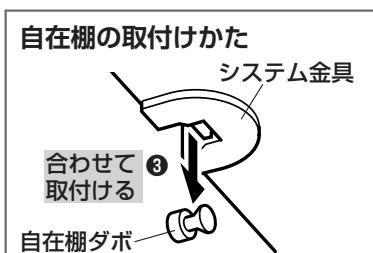
コーナー用	縦	横
	10 kg	20 kg

※ 吊ユニットの棚板の耐荷重は全て10 kgです。

■ 自在棚の付替えかた

自在棚ダボの取付位置を変えることで、自在棚を32mmピッチで付替えることができます。

1. 自在棚を持ち上げて取外す。
2. 自在棚ダボを外し、使い勝手のよい位置に差込む。
3. 自在棚のシステム金具を、自在棚ダボに合わせて取付ける。



2. 基本ユニットの使いかた

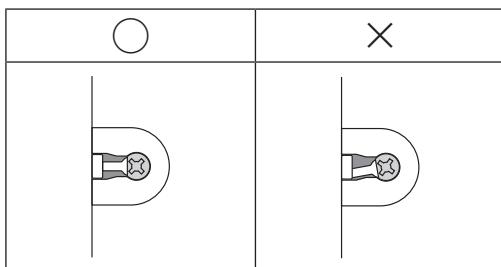
固定棚の移動のしかた

⚠ 注意

- 🚫 ユニットの強度が弱くなるため、固定棚を取外したままにしないでください。
位置を変えても必ず取付けてください。

1. 固定棚裏面のすべての固定ネジを、反時計回りに回してロックを解除する。

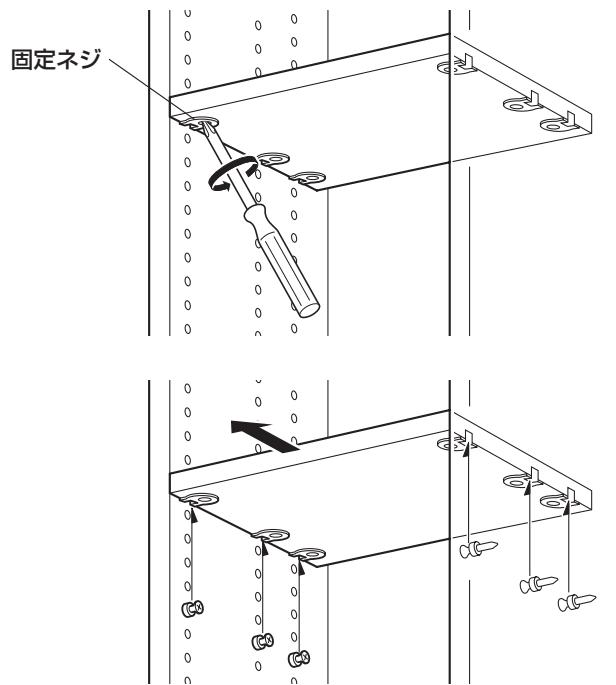
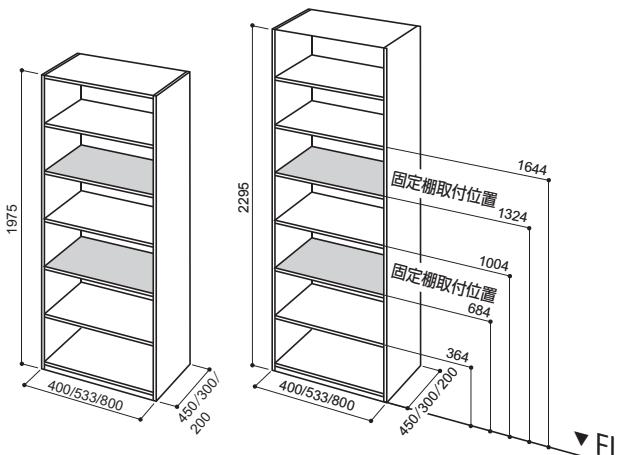
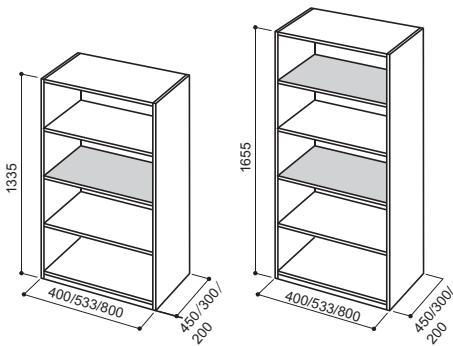
固定ネジのロック解除状態



2. 固定棚を持ち上げて取外す。

固定棚の推奨範囲

固定棚の間隔は天板、底板を含めて内寸620mm以下で設置してください。

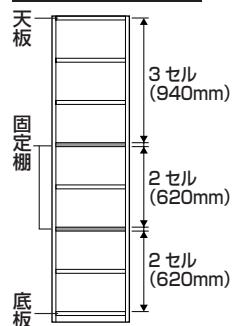


⚠ 注意

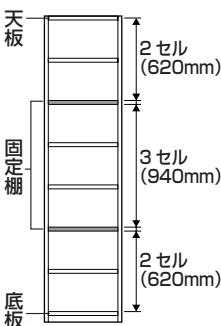
以下の内容を守らないと、強度不足のためユニットがガタついたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

- ❗ 固定棚の位置は、天板・底板・固定棚の間隔が3セル（棚板の内寸 940mm）以上離れないようにしてください。

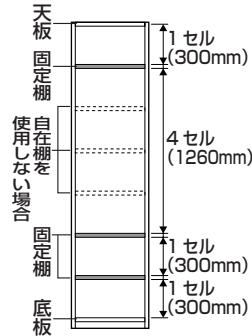
固定棚推奨位置のユニット



固定棚を移動したユニット例



- ❗ 天板・底板・固定棚の間に自在棚を使用しない場合は、固定棚どうしの間隔を最大4セル（棚板の内寸 1260mm）以内にしてください。
(製品には必ず自在棚が付属しています。)



3.組立用ピンを外す。

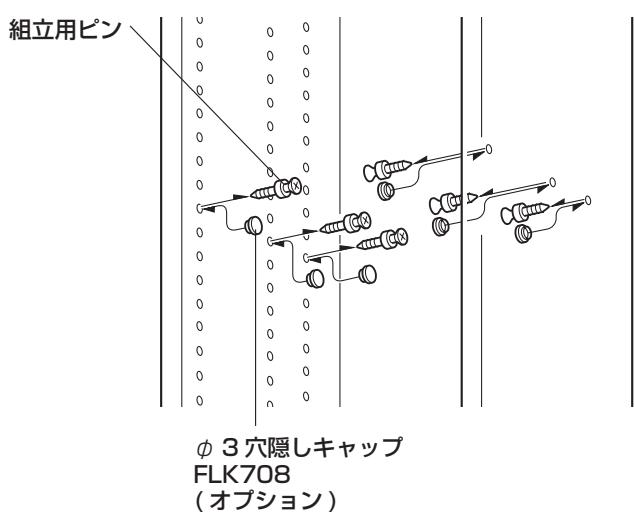
4.穴隠しキャップを、組立用ピンを外した穴に取付ける。

※組立用ピンを外した穴は大きくなったり、バリが発生したりします。
バリが発生した場合は、 $\phi 3$ 穴隠しキャップ FLK708 (40個入/オプション) を取付けてください。

⚠ 注意

ⓧ 組立用ピンを外したダボ穴を、再度使用しないでください。

穴が大きくなっているので、使用中に固定棚が外れるおそれがあります。



$\phi 3$ 穴隠しキャップ
FLK708
(オプション)

3. TVボードの使いかた

■ TVボードについて

△ 警告

- AV機器の端子カバーを必ず取付けてください。
端子部にほこりが溜まり、火災の原因となるおそれがあります。

△ 注意

- 耐荷重（全体に均等にものを収納した場合：下表）を超えて、本体にものを収納しないでください。
破損してけがをする原因になります。

耐荷重一覧表（TVボード共通）

品名	高	幅	カウンター部	棚板部	底板部
TVボード システムタイプ	H1	533	40 kg	10 kg	10 kg
		800	60 kg	20 kg	20 kg
		1200			
		1400			
		1600			
フロートTVボード	H1	800	30 kg	10 kg	10 kg
		1200			
		1400			
		1600			

※ 耐荷重はすべて均等荷重時の数値です。

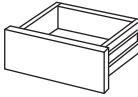
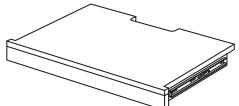
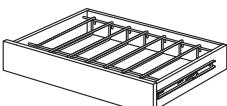
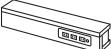
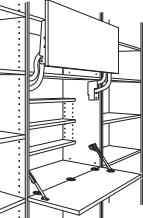
- TVを替える場合は、各TVボードに設置できるTVかどうかを確認してください。
TVによっては重量が耐荷重を超え、設置できない場合があります。

4. オプションの使いかた

■ オプションについて

MiSELシリーズにはさまざまなオプションを用意しております。
用途に合わせて追加することができます。下図は代表的なものです。
詳しくは、DAIKEN HPをご確認ください。

DAIKEN HP <https://www.daiken.jp/>

引出し	<p>引出しタイプのユニットです。 (→9ページ)</p>  <p>※ 施工業者による、取付工事が必要です。</p>	スライドカウンター	<p>引出しタイプの棚です。 (→9ページ)</p>  <p>※ 施工業者による、取付工事が必要です。</p>	スラックスハンガー	<p>ハンガータイプの棚です。 (→9ページ)</p>  <p>※ 施工業者による、取付工事が必要です。</p>
コンセントユニット	<p>コンセントが付いているタイプのユニットです。 (→12ページ)</p>  <p>※ 施工業者による、取付工事が必要です。</p>	格納デスクユニット	<p>開くと机になるユニットです。 (→11ページ)</p>  <p>※ 施工業者による、取付工事が必要です。</p>		

⚠ 注意

🚫 耐荷重(全体に均等にものを収納した場合:下表)を超えて、本体にものをのせたり、収納したりしないでください。

破損や落下してけがをする原因になります。

引出し

奥行き	幅	W400	W533	W800
D300		5 kg	5 kg	10 kg
D450		5 kg	5 kg	10 kg
D600		5 kg	5 kg	10 kg

※ 小分けタイプも同じです。

スラックスハンガー

奥行き	幅	W400	W533	W800
D600		5本	8本	10本

スライドカウンター

奥行き	幅	W400	W533	W800
D300		10 kg	10 kg	20 kg
D450		10 kg	10 kg	20 kg

格納デスクユニット

奥行き	幅	W800
D300		10 kg
D450		10 kg

※ デスク部・棚板の耐荷重です。

4. オプションの使いかた

引出し/スライドカウンター/スラックスハンガーの使いかた

⚠ 注意

- ⚠ スライドカウンターの上で、炊飯器を使用する場合は引出して使用してください。
蒸気や熱により製品が変形・変色するおそれがあります。
- 🚫 スライドカウンターの上で、ミキサーヤフードプロセッサーなど、振動するものを使用しないでください。
落下して、けがや破損の原因になります。

取外しかた

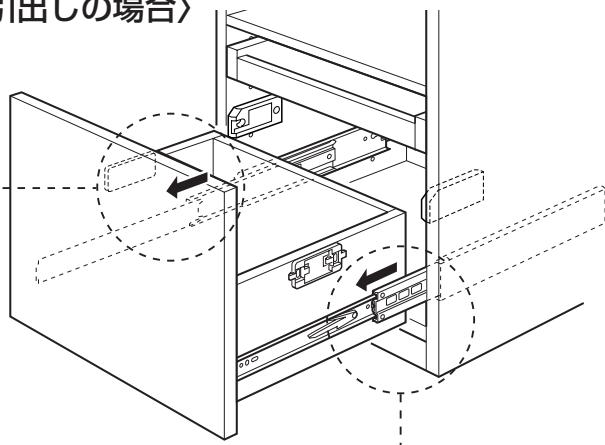
〈標準引出し・内引出し・プッシュオープン機能付引出しの場合〉

※イラストは引出しの場合ですが、スライドカウンターやスラックスハンガーの場合も要領は同じです。

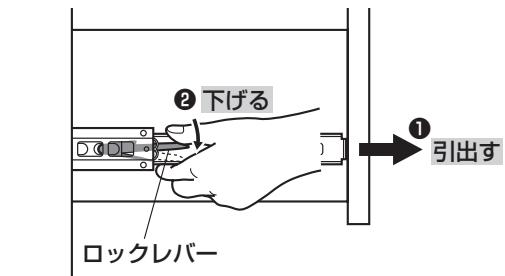
引出し/スライドカウンター/スラックスハンガーは、取外しできます。

以下の要領で取外してください。

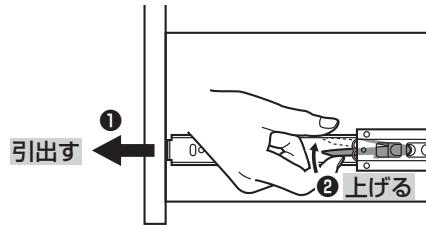
- 1.引出しを引出す。
- 2.ロックレバーを上げる
(左側は下げる)。



左側の取外方法

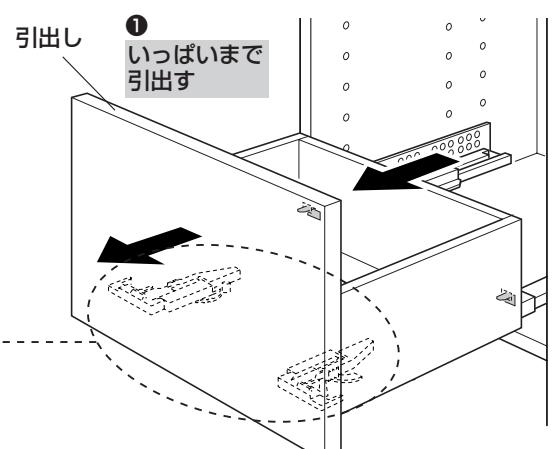
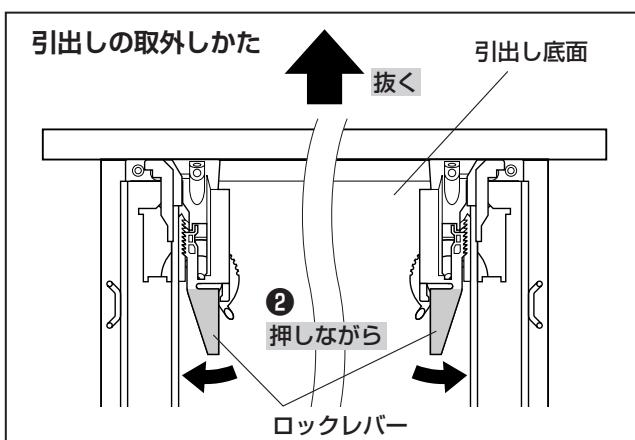


右側の取外方法



〈ラクラクローズ付きの場合〉

- 1.引出しをいっぱいまで引出す。
- 2.引出し底面のロックレバーを押しながら、引出しを抜く。



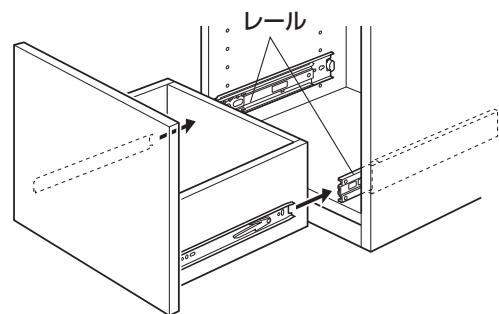
取付けかた

〈標準引出し・内引出し・プッシュオープン機能付引出しの場合〉

※イラストは引出しの場合ですが、スライドカウンターやスラックスハンガーの場合も要領は同じです。

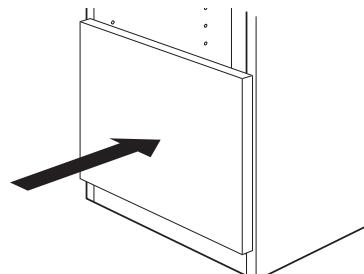
引出し/スライドカウンター/スラックスハンガーを以下の要領で取付けてください。

1.引出しのレールを本体のレールに入れる。



2.引出し本体をゆっくり押し込む。

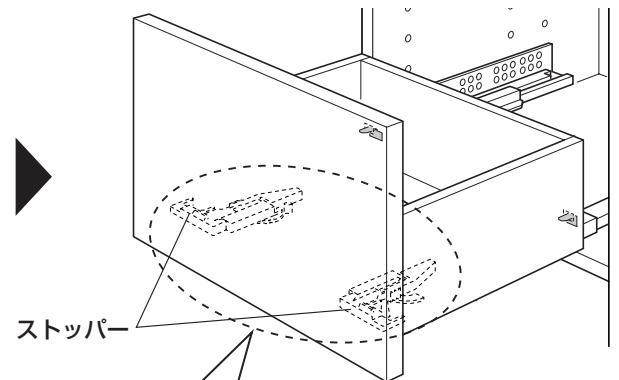
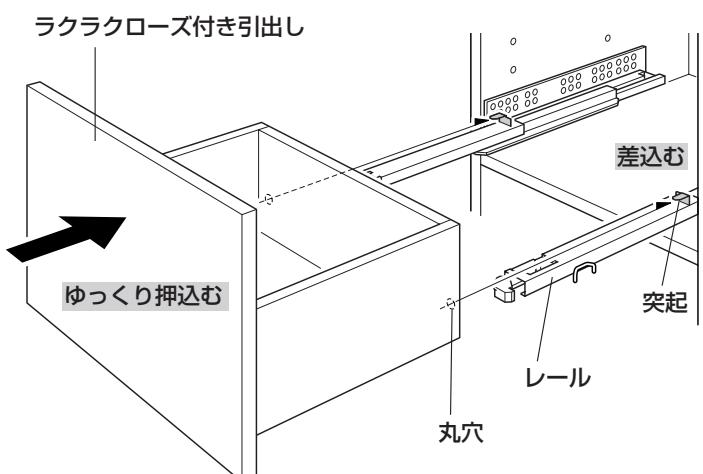
※押し込んだ後、2、3回開閉して固定されたことを確認してください。



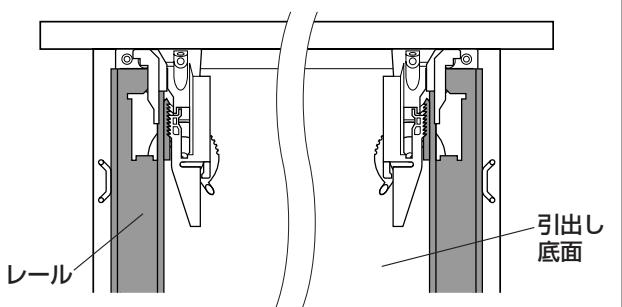
〈ラクラクローズ付きの場合〉

ラクラクローズ付きの取付け

引出し背面の丸穴をレールの突起に差込み、引出し本体をレールにのせ、押込む。



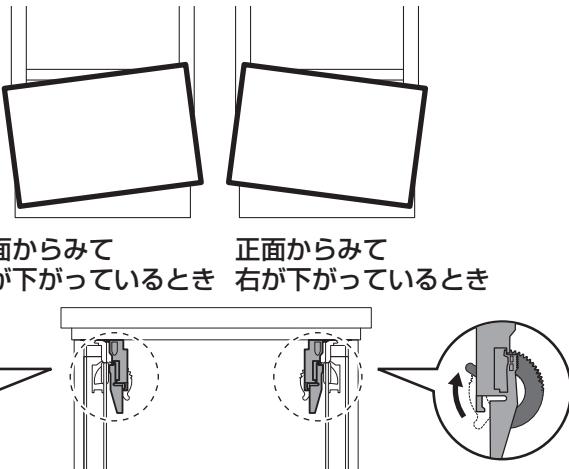
レールとストッパーがかみ合っていることを確認する



4. オプションの使いかた

ラクラクローズ付き引出しの調整方法

- 1.引出しを閉めて傾きを見る。
- 2.引出しを引出して底面の調整レバー(緑)を回して、傾きを調整する。



格納デスクユニットの使いかた

扉の開閉の重さを調整することができます。

⚠ 注意

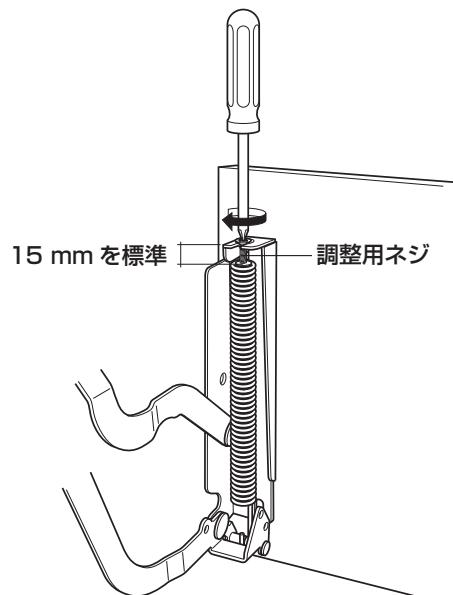
- 🚫 デスクの上でミシンなどの振動するものを使用しないでください。
落下してけがや破損するおそれがあります。(耐荷重: 10kg)

スイングアップ扉（上扉）の調整のしかた

- 1.スイングアップ扉を開く。
- 2.スイングアップ扉の左右にある調整用ネジを回してスイングアップ金具バネの力を調整する。
調整用ネジを時計回りに回すと、バネの力が強くなります。
調整用ネジを反時計回りに回すと、バネの力が弱くなります。

お願い

- 扉が自然に開いてきますので、バネの力を弱くしすぎないでください。
- 左右の調整用ネジを同じ調整量にしてください。
バランスが悪いと、扉が傾いたり、うまく開閉できなくなります。



デスク扉の調整のしかた

1. デスク扉を開く。

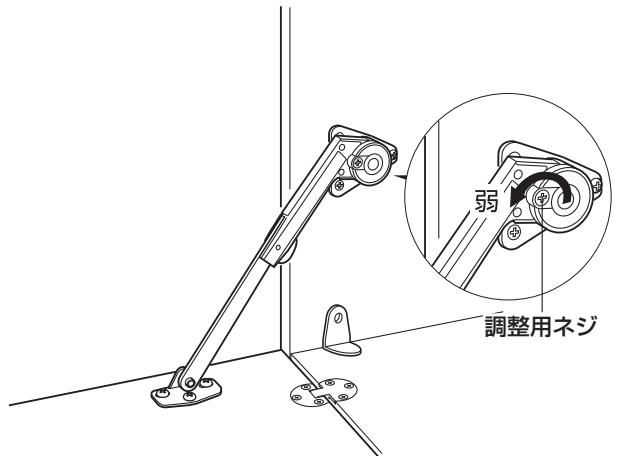
2. デスク扉の左右ステーにある調整用ネジをプラスドライバーで回して金具バネの力を調整する。

調整用ネジを時計回りに回すと、バネの力が強くなります。

調整用ネジを反時計回りに回すと、バネの力が弱くなります。

お願い

- 扉が外れますので、バネの力を弱くしそぎないでください。
- 左右の調整用ネジを同じ調整量にしてください。
バランスが悪いと、扉が傾いたり、うまく開閉できなくなります。



コンセントユニットの使いかた

⚠ 警告

🚫 コンセントユニットの周囲に水に濡れたものを放置しないでください。
感電や火災が発生する原因になります。

❗ コンセントにゴミやホコリが付着しないよう、定期的に掃除をしてください。
火災やショート・漏電・感電のおそれがあります。

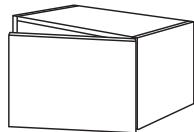
5. 扉の調整のしかた

扉について

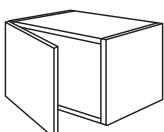
使用していると年月の経過とともに、扉がガタついてきたり扉どうしのすき間が目立ってきたりします。その場合は、以下の方法で扉の丁番を調節し、扉の位置を調整してください。

開き扉

左右に開くタイプの扉です。



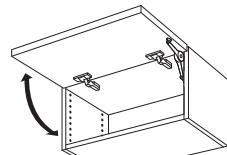
右開き



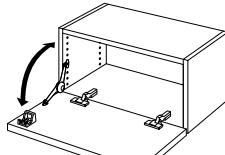
左開き

フランプ扉

上下に開くタイプの扉です。(→15ページ)



上開き



下開き

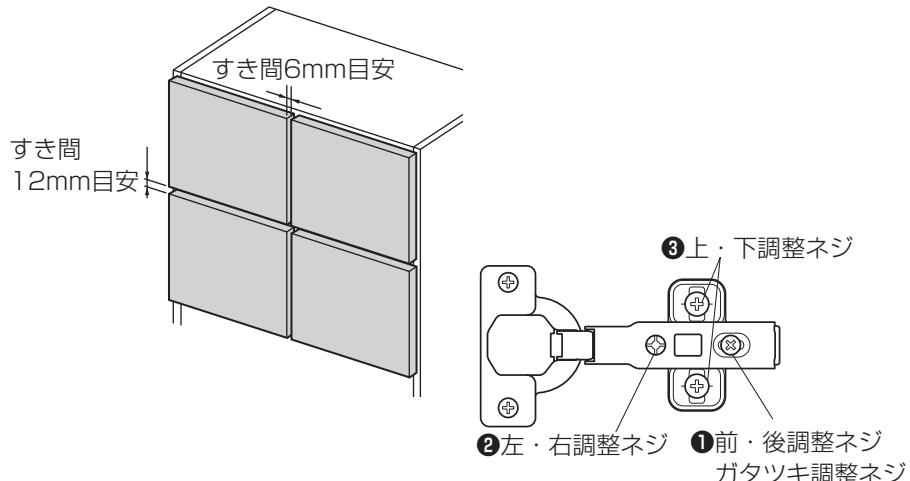
開き扉の調整のしかた

扉どうしのすき間について

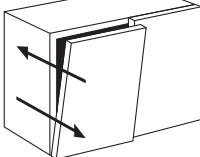
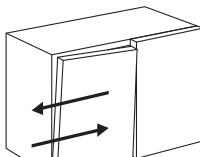
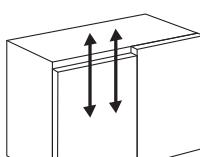
●扉どうしの上下のすき間は、12mmが標準です。

12mmよりせまいと、扉を開閉する際に指が入りにくくなります。

●扉どうしの左右のすき間は、6mmが標準です。



丁番の調節のしかた

現象	調整箇所	処置
前後の位置ズレ	 ①前・後調整ネジ	前・後調整ネジをゆるめ、扉の前後位置を調整後、締直してください。
左右の位置ズレ	 ②左・右調整ネジ	前・後調整ネジを締めた状態で、左・右調整ネジを回して、扉の左右位置を調整してください。
上下の位置ズレ	 ③上・下調整ネジ	上・下調整ネジをゆるめて扉の位置を調整した後、締直してください。

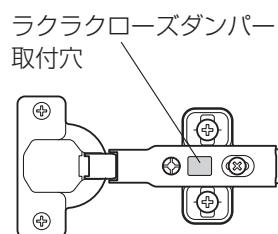
⚠ 注意

- 扉を調整したあとは、耐震ロックも調整してください。(→16ページ)
調整をおこなわないと耐震ロックが正常に動作しないおそれがあります。

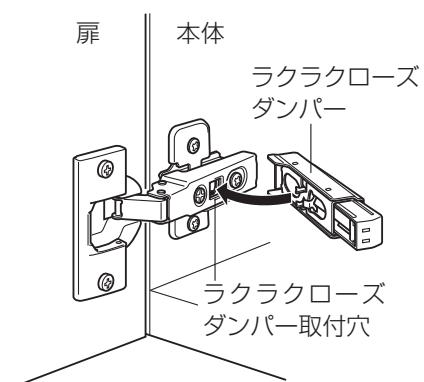
ラクラクローズダンパー(FLK711-1/オプション)の取付けかた

ラクラクローズダンパーを取付けることで、扉を閉める際の音をやわらげることができます。下記の手順で取付けてください。

1. ラクラクローズダンパー取付穴の位置を確認する。

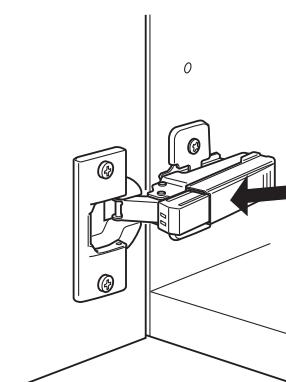


2. 扉を開いた状態にしてから、丁番のダンパー取付穴にラクラクローズダンパーを当てる。



3. 「パチン」と音がするまで奥に押し込むようにめ込む。

※ 扉を2、3回開閉し、動作を確認してください。

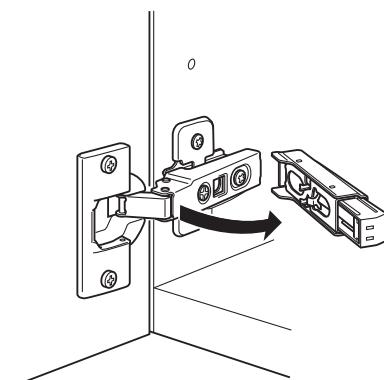


ラクラクローズダンパーの外しかた

ダンパーの先を内側にはね上げると外れます。

※ 1段用扉にも取付は可能ですが、扉が小さいためダンパーが効きすぎる場合があります。

※ 3段用高さ以上扉の場合はダンパーを上下に2つご使用ください。

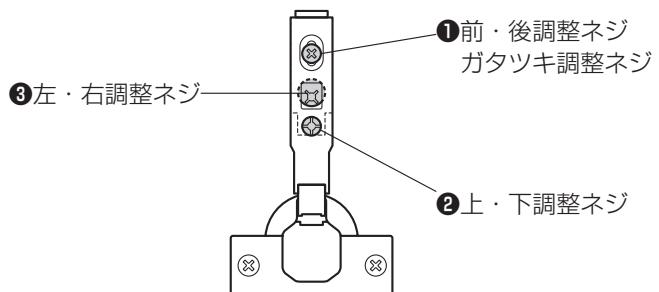


5. 扉の調整のしかた

■ フラップ扉の調整のしかた *イラストは下開きタイプです

丁番の調節のしかた

扉が正常に開閉でき、扉のゆがみがないか確認してください。
調整は、丁番本体のネジでおこないます。



現象	調整箇所	処置
前後の位置ズレ	①前・後調整ネジ	前・後調整ネジをゆるめ、扉の前後位置を調整後、締直してください。
上下の位置ズレ	②上・下調整ネジ	前後調整ネジを固定したまま、上・下調整ネジを回して、扉の上下位置を調整してください。
左右の位置ズレ	③左・右調整ネジ	前後調整ネジを固定したまま、左・右調整ネジをゆるめて、扉の左右位置を調整した後、締直してください。

ステーのブレーキ具合の調整

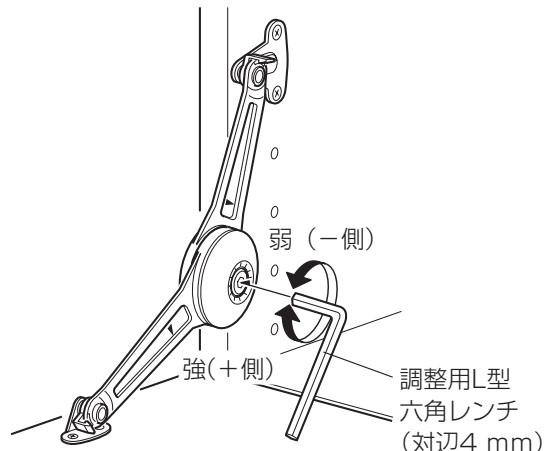
扉がスムーズに開閉するように、調整用レンチを使用して調整してください。

⚠ 注意

❗ フラップ扉は経年により開閉力が弱まりますので、定期的に付属の六角レンチで調整してください。

弱めすぎると、扉が急に開いたり、ステーが外れたりしてけがをするおそれがあります。

❗ 下開きタイプの扉を調整したあとは、耐震ロックも調整してください。(→16ページ)
耐震ロックが正常に動作しないおそれがあります。
※上開きタイプには耐震ロックは取付けできません。

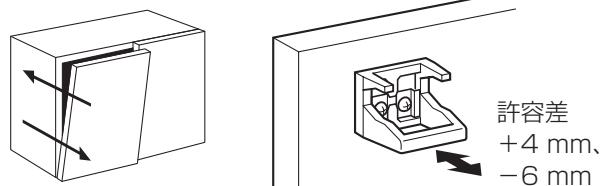


■ 耐震ロックの調整のしかた

扉を調整した後は、以下の手順で耐震ロックも調整してください。

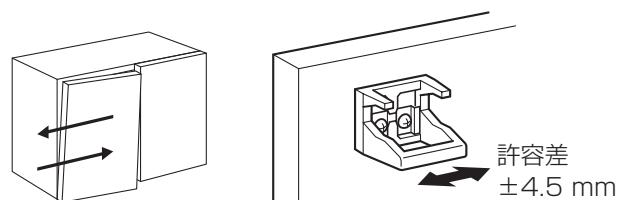
扉の前後を調整した場合

前・後調整ネジをゆるめて扉を調整した場合は、受座開口部奥行き方向の許容差が+4 mm、-6 mmありますので、調整の必要がない場合がほとんどです。



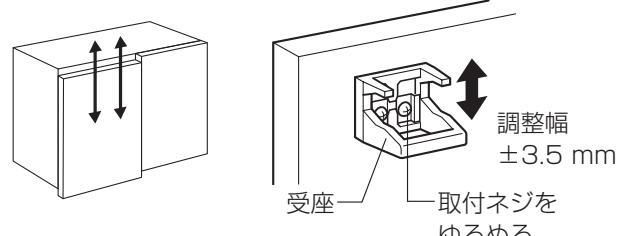
扉の左右を調整した場合

左・右調整ネジを回して扉を調整した場合は、受座開口部幅方向の許容差が、±4.5 mmありますので、普通は調整の必要がありません。必要な場合は、受座をずらして取付け直してください。



扉の上下を調整した場合

上・下調整ネジを回して扉を調整した場合は、受座の取付ネジをゆるめて、受座を上下に動かして調整してください。
また、扉を閉めたときに受座がロックしてしまうときは、受座を少し下げて固定してください。



◆ 耐震ロックの使用上のご注意

⚠ 注意

〈耐震ロックについて〉

- 耐震ロックは収納用キャビネットの扉や引出しに取付け、地震などの振動によって扉や引出しが開くのを軽減するロック装置です。それ以外の目的で使用しないでください。
- ！ 耐震ロックは、すべての振動に対して有効ではありません。振動の方向や収納キャビネットの設置条件によって、扉や引出しが開くことがありますので、十分に注意してください。
- ！ 収納物を出し入れする際、頭や顔に耐震ロックの受座が当たらないように注意してください。けがをするおそれがあります。



〈振動発生時や発生後について〉

- ！ 振動（地震など）発生時、速やかに収納キャビネットから離れて、安全な場所に避難してください。
扉や引出しのすき間から、不安定な収納物や小さな収納物、破損した収納物などが落下してけがをするおそれがあります。
- ！ 振動（地震など）発生後に扉を開ける際、収納物が落下してくることがあります。
扉を少しだけ開いてみて、収納物が扉などに寄りかかっていないか確認してから扉を開けてください。
収納物が落下してけがをするおそれがあります。
- ※ 耐震ロックは振動発生時にロックがかかりますが、振動が治まるとロックは自動的に解除されます。
ロックが解除されない場合は、P.17 「6.耐震ロックの解除のしかた」を参照し、ロックされている扉を解除してください。
収納物によっては、少し扉が開いた状態でロック状態になることがあります、扉を閉め直すとロックは解除されます。

〈耐震ロックの取扱いについて〉

以下の内容を守らないと、正しく動作しなかったり、変形や故障の原因になります。

- 分解や改造をしないでください。
- 高温多湿の場所に長時間放置しないでください。
- 過剰な衝撃や力を加えないでください。

6. 耐震ロックの解除のしかた

この製品の引出しと開き扉には、地震などでユニットがゆれた際に、引出しや開き扉が開かないようにロックするための耐震ロックが取付けられています。ユニットに当たるなど、衝撃を与えると耐震ロックがかかってしまう場合がありますので、以下の要領で解除してください。

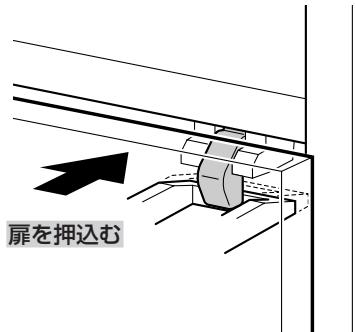
〈開き扉の耐震ロックの解除のしかた〉

・ロック解除のしかた

収納物が倒れて扉に寄り掛かったり、はさまるなどして、扉が閉まっていない場合にロックが解除できない仕組みになっています。

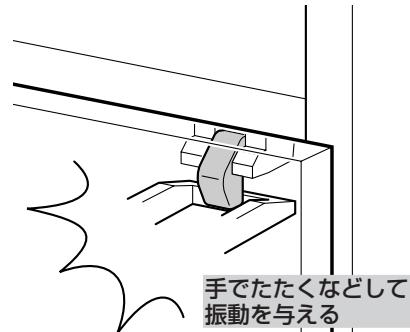
いったん扉を閉めきることで、ロックが解除されます。

寄り掛かったりはさまったりしている収納物が落下しないように注意しながら扉を開けてください。



・ロックの強制解除のしかた〈1〉

扉のラッチ付近を手でたたくなどして振動を何回か与えて2~3秒してから、ゆっくり扉を開きます。

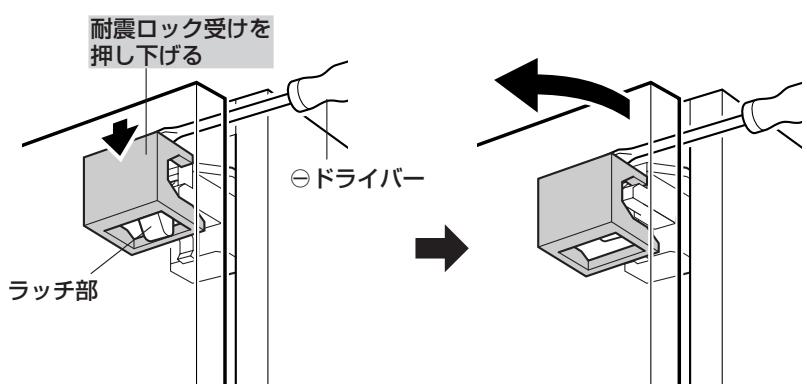


・ロックの強制解除のしかた〈2〉

1. ロックが掛かっている扉を開く。15mm程度のすき間が開く。

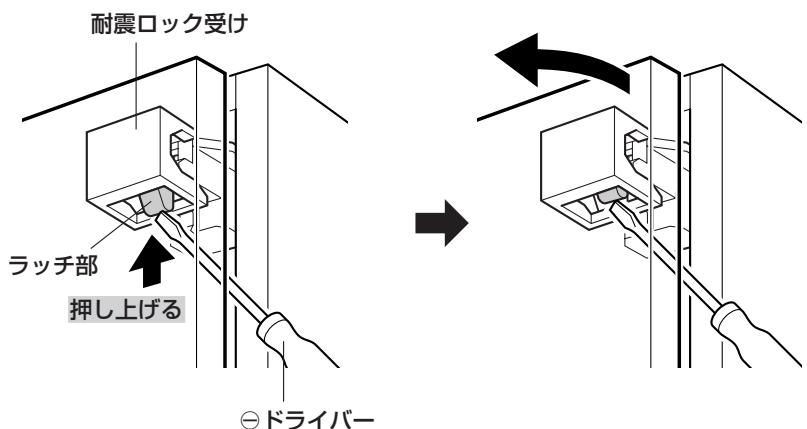
2. \ominus ドライバーなどで耐震ロック受けを押下げ、ロックを解除する。

3. 耐震ロック受けを押下げながら扉をゆっくり開く。



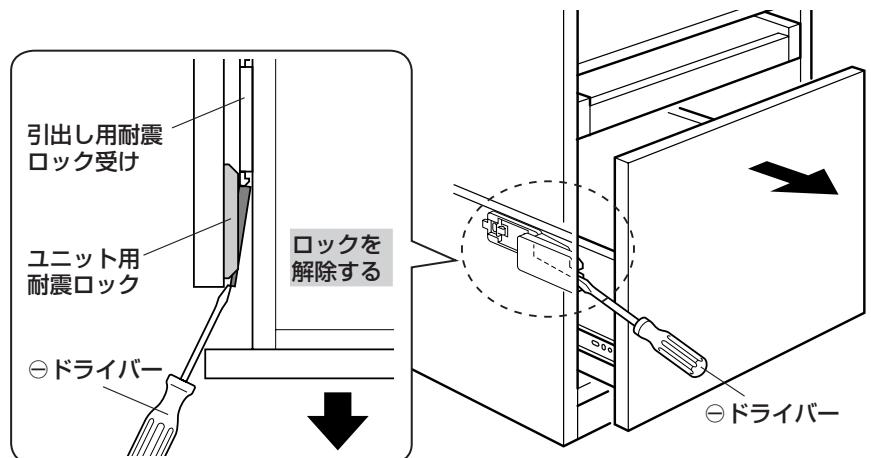
• ロックの強制解除のしかた<3>

1. ロックが掛かっている扉を開く。15mm程度のすき間が開く。
2. \ominus ドライバーなどでラッチ部を押し上げロックを解除する。
3. ラッチを押し上げながら扉をゆっくり開く。



〈引出しの耐震ロックの解除のしかた〉

引出しとユニットのすき間に \ominus ドライバーを差込み、ユニット用耐震ロックのロックを解除して引出しを抜く。



⚠ 注意

!
① ロックの強制解除では、外部から強制的に力を加えます。

強制解除後の耐震ロックは本来の機能が損なわれていることがありますので、そのまま使用しないでください。必ず新しい耐震ロックに交換してください。

7. お手入れのしかた

日常のお手入れ

△ 警告

● コンセントを使用している場合は電源プラグを抜いて、コンセントにゴミやホコリが付着しないように定期的に掃除をしてください。

火災やショート・漏電・感電のおそれがあります。

・ 日常のお手入れは、乾拭きしてください。

・ 汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、水分が残らないように乾拭きしてください。

◆ 汚れを落とすときのご注意

酸、アルカリ性洗剤やアルコール、シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。

表面のツヤがなくなったり変色する恐れがあります。



フレーム扉のお手入れ

● フレーム

アルカリ性・酸性系の洗剤は避けてください。

● 表面材〈ガラス製〉(スモーク・ミスト色)

割れる場合がありますので取扱いには十分注意してください。

汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、水分が残らないように乾拭きしてください。

鏡面扉のお手入れ

傷がつきやすいので取扱いには十分注意してください。

指紋や手あかは、細繊維のお手入れ布（OA機器用など）で、拭いてください。

定期的な点検項目

※ 製品の長期間の使用にともない、部品などが劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。

経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	対応方法	経年劣化進行にともなう具体的な事象
扉	扉がスムーズに開閉できるか。 丁番にガタツキがあるか。	無・有	丁番の交換。	扉の落下。 丁番の変形や破損。
引出し	引出しがスムーズに開閉できるか。 引出しレールにガタツキがあるか。	無・有	レールの交換。	引出しの落下。 引出しレールの変形や破損。
引出し (ラクラクローズ付)	引出しの閉まるスピードが著しく変化していないか。	無・有	レールの交換。	引出しレールのオイルもれによる収納物の汚れ。
棚板	棚板の傾き、垂れ下がりはあるか。	無・有	棚板の交換。	棚板の落下。 棚受ダボの変形や抜け。

MEMO

MEMO

MEMO

DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。

保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

スタイリッシュファニチャー ミセル

■保証事項

通常の環境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）

保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

保証事項	保証期間			
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期 ^{※2}	
使用上の著しい ^{※1} 支障が生じないこと	扉、引出し、本体	作動不良（故障）	引渡後	2年
外観上の著しい変形・変質が生じないこと		変形、変質（反り、ハガレ、クラック）		

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾燥を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかつた場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することができない事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1:火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただるために、ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

0120-787-505
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいている)
<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。
※購入に際しては登録が必要です。



<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ▶ お客様サポート▶
▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに記載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくときのためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>